

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年11月12日

【四半期会計期間】 第47期第2四半期(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

【会社名】 株式会社オーイズミ

【英訳名】 OIZUMI Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大 泉 政 治

【本店の所在の場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297 - 2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前 田 信 夫

【最寄りの連絡場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297 - 2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前 田 信 夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第2四半期 連結累計期間		第47期 第2四半期 連結累計期間		第46期	
	自	平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自	平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自	平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高	(千円)	5,611,684		5,109,762		13,519,020
経常利益	(千円)	552,350		514,411		1,711,496
四半期(当期)純利益	(千円)	374,260		365,213		956,395
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	396,964		363,422		956,833
純資産額	(千円)	13,499,637		14,265,401		14,059,449
総資産額	(千円)	23,091,570		26,086,344		26,669,201
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	16.64		16.23		42.51
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)					
自己資本比率	(%)	58.5		54.7		52.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	305,249		1,630,309		1,150,912
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	312,137		1,292,725		160,273
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	421,504		1,645,672		776,749
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,950,675		4,332,855		5,610,219

回次	第46期 第2四半期 連結会計期間		第47期 第2四半期 連結会計期間	
	自	平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自	平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	8.33		7.27

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（平成26年3月31日）に比べ582百万円減少し、26,086百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,764百万円減少し、13,879百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少（1,277百万円減）、受取手形及び売掛金の減少（713百万円減）の一方で、仕掛品の増加（269百万円増）によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,181百万円増加し、12,207百万円となりました。これは主に賃貸用不動産の取得による建物及び構築物の増加（298百万円増）及び土地の増加（422百万円増）、有形固定資産その他（純額）に含まれる建設仮勘定の増加（788百万円増）の一方で、投資有価証券の売却による減少（331百万円減）によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ788百万円減少し、11,820百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少（2,202百万円減）、未払法人税等の減少（339百万円減）の一方で、短期借入金の増加（777百万円増）、1年内返済予定の長期借入金の増加（162百万円増）、長期借入金の増加（862百万円増）によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ205百万円増加し、14,265百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加（207百万円増）によるものです。

この結果、自己資本比率は54.7%と前連結会計年度末に比べ2.0ポイント増加しました。

(2) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高5,109百万円（前年同期比8.9%減）、経常利益514百万円（前年同期比6.9%減）、四半期純利益365百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高4,826百万円（前年同期比9.9%減）、セグメント利益560百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、第2四半期連結累計期間は売上高298百万円（前年同期比11.4%増）、セグメント利益197百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,277百万円減少し、4,332百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,630百万円(前年同期は使用した資金305百万円)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益547百万円の計上、減価償却95百万円の実施、売上債権の減少695百万円がある一方で、たな卸資産の増加117百万円、仕入債務の減少2,201百万円、法人税等の支払額474百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,292百万円(前年同期は得られた資金312百万円)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入360百万円がある一方で、有形固定資産の取得による支出1,602百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,645百万円(前年同期は得られた資金421百万円)となりました。これは主に短期借入れによる収入777百万円、長期借入れによる収入1,750百万円の資金取得がある一方で、長期借入金の返済725百万円、並びに配当金の支払156百万円があったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は325百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社または提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第2四半期連結累計期間において、機器事業における周辺設備機器(自動サービス機器)の生産が増加しており、周辺設備機器(システム機器)及び遊技機(パチスロ機)等の生産が減少しております。

なお、不動産事業は生産活動を行っておりません。

受注実績

当社グループでは機器事業におけるシステム機器製品については受注生産を行っております。当第2四半期連結累計期間において、著しい増減はありません。

なお、不動産事業は受注活動を行っておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間において、機器事業における遊技機(パチスロ機)等の販売が減少しております。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、神奈川県海老名市内の賃貸用不動産を取得いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	90,000,000
計	90,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,500,000	22,500,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	22,500,000	22,500,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年9月30日		22,500,000		1,006,900		673,700

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)オーイズミホールディングス	神奈川県伊勢原市伊勢原 2 - 5 - 43	10,420	46.31
大泉秀治	神奈川県厚木市	3,008	13.37
大泉政治	神奈川県厚木市	960	4.27
大泉賢治	神奈川県厚木市	604	2.69
田澤路子	神奈川県伊勢原市	485	2.16
田中秀雄	神奈川県横浜市鶴見区	300	1.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内 2 - 7 - 1	300	1.33
オーイズミ取引先持株会	神奈川県厚木市中町 2 - 7 - 10	222	0.99
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲 2 - 10 - 17	210	0.93
オーイズミ従業員持株会	神奈川県厚木市中町 2 - 7 - 10	208	0.93
計		16,719	74.31

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,476,000	224,760	
単元未満株式	普通株式 19,800		一単元(100株)未満株式
発行済株式総数	22,500,000		
総株主の議決権		224,760	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,500株(議決権15個)含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社オーイズミ	神奈川県厚木市 中町2-7-10	4,200		4,200	0.0
計		4,200		4,200	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,610,219	4,332,855
受取手形及び売掛金	3,892,151	3,178,708
商品及び製品	1,273,325	1,195,377
仕掛品	847,839	1,116,902
原材料	2,019,740	1,939,538
繰延税金資産	150,201	113,844
その他	1,872,108	2,010,610
貸倒引当金	22,353	8,625
流動資産合計	15,643,234	13,879,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,840,013	2,138,734
土地	7,039,212	7,462,171
その他（純額）	167,143	961,495
有形固定資産合計	9,046,370	10,562,401
無形固定資産		
ソフトウェア	42,500	37,500
その他	13,172	13,047
無形固定資産合計	55,672	50,547
投資その他の資産		
投資有価証券	1,463,796	1,132,786
繰延税金資産	1,247	1,644
その他	486,880	486,050
貸倒引当金	28,000	26,300
投資その他の資産合計	1,923,924	1,594,181
固定資産合計	11,025,967	12,207,131
資産合計	26,669,201	26,086,344
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,471,848	2,268,858
短期借入金	1,000,000	1,777,600
1年内返済予定の長期借入金	1,255,821	1,418,684
未払法人税等	501,658	161,952
賞与引当金	47,143	48,508
製品保証引当金	13,000	16,000
その他	338,773	247,978
流動負債合計	7,628,244	5,939,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
固定負債		
長期借入金	3,784,671	4,646,672
繰延税金負債	35,838	34,269
役員退職慰労引当金	458,260	462,904
退職給付に係る負債	28,616	30,641
資産除去債務	62,351	62,947
その他	611,769	643,926
固定負債合計	4,981,506	5,881,360
負債合計	12,609,751	11,820,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	12,330,910	12,538,653
自己株式	4,002	4,002
株主資本合計	14,007,507	14,215,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,942	50,150
その他の包括利益累計額合計	51,942	50,150
純資産合計	14,059,449	14,265,401
負債純資産合計	26,669,201	26,086,344

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,611,684	5,109,762
売上原価	4,310,188	3,935,891
売上総利益	1,301,496	1,173,870
販売費及び一般管理費		
販売促進費	106,975	2,304
役員報酬	95,598	95,562
給料手当及び賞与	112,360	93,130
賞与引当金繰入額	22,285	23,596
退職給付費用	13,066	14,439
役員退職慰労引当金繰入額	4,643	4,643
その他	432,384	440,453
販売費及び一般管理費合計	787,315	674,130
営業利益	514,180	499,740
営業外収益		
受取利息	1,795	1,697
受取配当金	14,367	10,441
その他	38,581	22,756
営業外収益合計	54,744	34,895
営業外費用		
支払利息	15,527	18,075
その他	1,045	2,149
営業外費用合計	16,573	20,224
経常利益	552,350	514,411
特別利益		
固定資産売却益	28,533	-
投資有価証券売却益	28,403	32,676
特別利益合計	56,936	32,676
税金等調整前四半期純利益	609,287	547,088
法人税、住民税及び事業税	207,480	146,495
法人税等調整額	27,547	35,379
法人税等合計	235,027	181,874
少数株主損益調整前四半期純利益	374,260	365,213
四半期純利益	374,260	365,213

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	374,260	365,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,704	1,791
その他の包括利益合計	22,704	1,791
四半期包括利益	396,964	363,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	396,964	363,422

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	609,287	547,088
減価償却費	115,881	95,959
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,398	15,428
製品保証引当金の増減額(は減少)	3,000	3,000
賞与引当金の増減額(は減少)	881	1,365
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,111	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	2,024
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,643	4,643
受取利息及び受取配当金	16,162	12,138
支払利息	15,527	18,075
投資有価証券売却損益(は益)	28,403	32,676
売上債権の増減額(は増加)	424,118	695,118
たな卸資産の増減額(は増加)	220,226	117,282
仕入債務の増減額(は減少)	1,002,056	2,201,790
その他	43,588	136,618
小計	293,069	1,148,659
利息及び配当金の受取額	16,167	12,138
利息の支払額	16,068	18,888
法人税等の支払額	598,418	474,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	305,249	1,630,309
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	-
投資有価証券の売却による収入	407,804	360,882
有形固定資産の取得による支出	130,200	1,602,704
有形固定資産の売却による収入	490,447	-
無形固定資産の取得による支出	22,849	-
貸付けによる支出	30,000	65,000
貸付金の回収による収入	7,999	22,999
子会社株式の取得による支出	502,000	-
その他	9,065	8,903
投資活動によるキャッシュ・フロー	312,137	1,292,725
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	777,600
長期借入れによる収入	1,500,000	1,750,000
長期借入金の返済による支出	966,228	725,136
自己株式の取得による支出	42	-
配当金の支払額	112,225	156,791
財務活動によるキャッシュ・フロー	421,504	1,645,672
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	428,391	1,277,363
現金及び現金同等物の期首残高	3,522,283	5,610,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,950,675	1 4,332,855

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

関係会社における銀行借入金に対して次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
神奈川電力株式会社	1,389,338 千円	2,192,776 千円
妙高酒造株式会社	475,450 千円	455,350 千円
株式会社インターグロー	100,000 千円	100,000 千円
合 計	1,964,788 千円	2,748,126 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	3,950,675 千円	4,332,855 千円
預入期間が3か月を 超える定期預金	千円	千円
現金及び現金同等物	3,950,675 千円	4,332,855 千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	112,479	5	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	157,470	7	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,358,755	252,928	5,611,684		5,611,684
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		14,700	14,700	14,700	
計	5,358,755	267,628	5,626,384	14,700	5,611,684
セグメント利益	577,765	175,779	753,544	239,364	514,180

(注) 1 セグメント利益の調整額 239,364千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,826,401	283,361	5,109,762		5,109,762
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		14,700	14,700	14,700	
計	4,826,401	298,061	5,124,462	14,700	5,109,762
セグメント利益	560,807	197,930	758,738	258,997	499,740

(注) 1 セグメント利益の調整額 258,997千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円64銭	16円23銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	374,260	365,213
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	374,260	365,213
普通株式の期中平均株式数(株)	22,495,841	22,495,779

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月12日

株式会社オーイズミ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 園 田 博 之 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 内 野 福 道 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーイズミの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーイズミ及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。